

認知症予防分野におけるPFS事業について

2022年1月24日

公文教育研究会 学習療法センター

1 . 弊社の事業活動

学習療法センターの事業活動



Mission

学習療法センター ミッション

私たちは、学習療法と脳の健康教室の実践を通して、
一人でも多くのご高齢者とそのご家族の笑顔を増やす。

2 . 弊社のPFS取り組み事例

PFS取り組み事例

1. 経済産業省「平成27年度 健康寿命延伸産業創出推進事業（ヘルスケアビジネス創出支援等）：成果報酬型ソーシャルインパクトボンド構築推進事業」へ参画
2. 奈良県天理市において平成29年度から、認知症予防分野では全国初となるPFSによる「脳の健康教室」を実施
3. 厚生労働省「平成30年度 老人保健事業推進費等補助金老人保健健康増進等事業：認知症施策における民間活力を活用した課題解決スキーム等の官民連携モデルに関する調査研究事業」へ参画
4. 令和元年度からは奈良県天理市と福岡県大川市にてPFSによる二つの事業を実施中（内閣府PFSポータルサイトにも事例掲載）

認知症発症予防としての「脳の健康教室」

認知症重度化防止としての「学習療法」

いずれの事業においても、「**成果指標**」を設定

ストラクチャ指標（サポーター充足率など）

プロセス指標（出席率）

アウトカム指標（認知機能検査スコアなど）



3 . PFS事業に取り組む中で学んだこと

PFS事業においては

関係者全員が「成果指標」（目標）を共有



その達成に向かって、PDCAサイクルを回しながら、
関係者全員が一丸となって取り組む



事業の質が向上

「成果指標」（目標）の共有が全てを動かす鍵



PFS事業 VPDCAサイクル

- V (Vision) 自治体としてどういう状態を目指したいのか?
首長・担当者のビジョン・目的・思い
- P (Plan) そのためには、何を成果とし、誰が、どういう活動を行うのか?
成果指標・役割分担（契約関係）・活動計画の「見える化」
- D (Do) その成果をどう達成していくのか?
ワンチーム・道中工夫・軌道修正
- C (Check) 結果をどう評価するのか?
成果指標の達成度の測定・振り返り
- A (Act) 次年度にどうつなげていくのか?
成果指標・活動計画の改善
- 質の向上・量の拡大「いい脳の健康教室・いい学習療法を広げていく」

